

令和7年度第1回豊中市文化芸術振興審議会

日 時 令和7年(2025年)7月23日(水) 午後3時00分～5時00分
会 場 くらしかん 体験学習室
委 員 出席：橋爪(会長)、天羽、上田、大本、河原、後藤、森本、山下
欠席：古後
事務局 都市活力部：高島部長
魅力文化創造課：良本課長、山森主幹、小嶋補佐、梅野係長、石橋係長、渡邊主事、
吉川係員
傍聴者 0名

[開会]

事務局○本日は第10期の審議会の第2回目であり、前回昨年度12月以来の開催で、今年度としては1回目の開催となる。

○(事務局の紹介)

1. 第10期第1回文化芸術振興審議会の振り返りについて

事務局○(資料1に基づき説明)

2. 令和6年度文化芸術推進基本計画に基づく施策実施状況(案)について

事務局○(資料2-1、2-2に基づき説明)

委 員○説明した事業の実施団体はどこか。マネジメント主体はどこか。例えばこども園アーティスト派遣事業や豊中まつりの委託先や実施団体等を教えてほしい。

事務局○こども園アーティスト派遣事業に関しては、特定の教育課程を経ている教育者が実施団体。アーティストであり、教育者である講師と委託契約を結んで企画や人材の手配、事業の報告等をしていただいている。市はこども園との調整、モニタリング等を担当している。

豊中まつりの実施主体は豊中まつり実行委員会、ホールでオーケストラは日本センチュリー交響楽団。旭川市とのコラボ演奏会は市の直営、兄弟都市提携である綾庭の宴は沖縄市と共催で行っており、舞台上の演出については沖縄市の団体である「なかのまちヤカラーズ」にお願いし、受付等については豊中市と沖縄市で対応。

委 員○こども園アーティスト派遣事業に関しては委託と伺ったが、公募なのか、選んだ方法について教えてほしい。また、契約は何年契約か。

事務局○非認知能力にアプローチする観点から芸術の専門家であるアトリエリスタかつ教育者である方に随意契約でお願いした。契約年数は1年である。

委 員○ホールでオーケストラについて、子供たちが開催場所に来てくれる形で実施しているのか。

事務局○40校の生徒全員が開催場所である豊中市立文化芸術センターに来る形で実施している。近くの学校は徒歩で、遠くの学校については市がバスを手配している。

委 員○令和6年度文化芸術推進基本計画進捗状況について、既存の施設に対する満足度

のみののか。現在存在していないが、市民が欲しいと思う施設についてアンケートをとっているのか。

事務局○満足度については、利用者からの回答となっているため、既存の施設に対する回答のみとなっている。今後当該質問項目の新規設定などを検討させていただく。

委員○こども園アーティスト派遣事業について、アートコーディネーターの活動の実践先を重ねていくことで豊中の中でアートコーディネーターが育つ。また、アーツワゴンに専門が音楽ではあると思うがアートの領域にも広げ、そうした環境で育ったアーティストがコーディネーターと協力して豊中で循環して育つモデルができればよいと感じた。

事務局○こども園アーティスト派遣事業に関しては、講師の方が大学の先生もされているため、生徒である学生を連れてきていただくことで生徒の実践先も提供している。こうした取り組みはお願いするようにしている。今後も続けていきたい。

委員○先日、地域創造でとよなか ARTS ワゴン取材した。仕組みや内容に関して大変良い取り組みであると感じた。また、項目数を増加したことにおいても大変素晴らしいことであると感じる。ただ、指定管理者にとってはアウトリーチ先が増えるとともに予算や人員などの負担が増える。このことに関して予算や人員への考え方はどのようにしているのか。なお、こども園アーティスト派遣事業に関してこども園への派遣数を増加するほどアーティストが疲弊していくのではないかと感じる。良い事業は維持・拡大が望ましいが、そこで起こる負担に関しては市の責任であるため良い仕組みを考えていただけるとありがたい。

事務局○今後指定管理者と相談させていただき、対応策について検討していく。

行政の課題として捉え、同じ方向を向いて継続できるように対応していきたい。

会長○文言修正等の指摘事項はなかったため、(案)を外して HP に掲載するということによろしいか。

(異議なし)

会長○振り返りとしてはこれで以上とする。

3. 令和7年度文化芸術振興助成金の報告について

事務局○本議題については非公開の審査内容が含まれるため、非公開としてよい。

(異議なし)

会長○本議題については非公開とする。

委員○(資料3-1、3-2、3-3、3-4に基づき説明)

会長○審査された委員から一言お願いしたい。

委員○審査を担当させていただき、数年経過するが最初申請されていた団体が卒業されたのか自立して活動しているのか団体が入れ替わっているように感じている。また、会社が申請されているのが印象的であった。ビジネスとしてアートをしながら市民生活に寄与する活動をされるのであれば豊中という街にインパクトがあることと感ずるため注視していきたい。

個人的には伝統芸能をされていた団体さんの伝統芸能を続けたい思いが印象的であり、続けていただきたいと感じている。

会 長○ほかの委員から質問はあるか。

委 員○採択された団体の大半が音楽関連であるが、音楽に限定して募集しているのか。

委 員○音楽に限定して募集しているわけではないが、豊中は音楽の街ということも相まって、音楽に関する活動をされている方が多い印象。数年前は、アートや美術系の応募もあったが、継続して活動されているのは音楽の方が多い、また、最近は部活動の地域展開を意識され、子供たちに音楽を教える新たな取り組みが多くみられる。豊中市は音楽が強く他のジャンルについては他市と比べると弱い感覚はある。報告会の際に、団体同士が交流しており、事業の共催等について話し合っていたため、美術系の団体についても入っていただくなど人材や団体の横広がりについて助成金が担うべき役割であると感じた。

委 員○報告会も市民の方に来ていただきたいと感じた。

事務局○市としては助成金をきっかけにして、出会った人や団体とネットワークを持っていただき、新たな側面から事業を展開していただきたいと考えている。

そのため、助成金後の展開についても検討していきたい。

4. その他

事務局○次回の審議会は12月頃に開催したいと考えている。後日、日程調整する。

○会議録については事務局で作成した案を、後日、委員の皆様を確認後、確定させていただく。会議録は市のホームページで公開する。

[閉会]

(以上)